



3姉妹のけんか やめさせたい

わが家の子どもたちは長女9歳、次女7歳、三女3歳の3姉妹。けんかが多く、仲良くしてほしいです。長女と次女のけんかは日常茶飯事、三女が仲裁するような状態です。

最近漫画「鬼滅の刃」のグッズの取り合いで長女と次女がけんかをし、次女が母親に泣きつきます。父親の私は仲良くしてほしくて、つい物をたくさん買ってあげてしまいます。

長女は物への独占欲が強く、わがまま。次女は長女の物を欲しがります。三女は姉たちのまねをしながら、甘えています。将来が心配になります。

先生、教えて!

子育て・教育相談コーナー



仙台市太白区
40代・会社員
からの質問

●回答してくれた人

高野 幸子さん



たかの・さちこ 宮城県亘理町出身。1998年から仙台市宮城野区の福至希望園長。保育に携わり、保護者の育児支援や相談にも力を入れている。宮城県保育協議会副会長も務める。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。元教員や学習塾経営者、小児科医、精神科医らが、紙面上で悩みにお答えします。メールまたは郵送で相談をお寄せください。

▶記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▶宛先 〒980-8660 河北新報社こども新聞係。メールアドレス kyopro@po.kahoku.co.jp

男だけ、女だけの同性の3人きょうだいはけんかが多いものですが、「真ん中の子がうまく育つとうまくいく」といわれます。真ん中の子に特に声を掛けながら「3人ともかわいい」と強調してあげてください。

上は最初の子でかわいがられ、与えられた物は全部自分の物で独占欲が強くなります。親にその気はなくても、真ん中はずいぶんになりがち。お下がりが多く、上の子の物を欲しがようになります。下は年が離れ小さいので、かわいがられます。

真ん中は「お姉ちゃんの言うことを聞きなさい」「お姉ちゃんでしょ」と言われがちで、かわいそうな立場。「お姉ちゃん」「妹」ではなく、名前呼んで

立ててあげましょう。

たとえば「梅」「桃」「桜」という姉妹なら、「梅ちゃんは桃ちゃんにこうしてあげよう」「桃ちゃんはもう何歳だから、梅ちゃんと仲良くしようね」「みんな桜ちゃんの面倒を見よう」といったように。「上だからいい、下だから駄目」ということではありません。

4歳ごろから両親が声を掛けたことは記憶に残ります。物では心は育ちません。言葉で心を育ててください。悪いことをしたらきちんと行って聞かせる。3人とも生まれた順番と年数が違うだけで平等です。「3人とも愛している」「何かあったらいつでも言って」と伝え、毎日の対話を大切にしてください。

真ん中立て 対話大切に